ヒトにおける影響(表)

表〇 ヒトにおける慢性影響を調査した疫学研究

*1FFQ: Food Frequency Questionnaire (食物摂取頻度調査)

a-1. オランダコホート研究 (NLCS: The Netherlands Cohort Study)

対象集団	追跡期間·	FFQ*1による推定摂取量	HR (95%CI)		文献	国際
性別·人数	症例数	(µg/日)				機関
オランダ	11.3 年	第 1 五分位(Q1): 9.5	【全体】	【非喫煙者】	Hogervorst	JECFA
コホート		第 2 五分位(Q2): 14.0	子宮内膜癌	子宮内膜癌	et al. 2007	2011b、
1986~1997 年	【全体】	第 3 五分位(Q3): 17.9	(Ptrend=0.18)	(Ptrend=0.03)		EFSA
閉経後の女性	子宮内膜癌:	第 4 五分位(Q4): 24.3	Q1: 1.00	Q1: 1.00		2008、
55~69 歳	221名/15,836人-年*2	第 5 五分位(Q5): 36.8	$Q2:0.95\ (0.59\sim1.54)$	$Q2: 1.16 \ (0.63 \sim 2.15)$		EPA
(開始当時)	卵巣癌:		Q3: $0.94 \ (0.56 \sim 1.56)$	Q3: $1.35 (0.73 \sim 2.51)$		2010、
62,573 名	195名/19,037人-年		$Q4: 1.21 \ (0.74 \sim 1.98)$	Q4: 1.30 $(0.69 \sim 2.46)$		ATSDR
(サブコホート	乳癌:		Q5: 1.29 $(0.81 \sim 2.07)$	Q5: 1.99 $(1.12 \sim 3.52)$		2012
2,589 名。最終的	1,350名/19,036人-年					
に 1,481 名を子宮			卵巣癌(Ptrend=0.02)	卵巣癌(Ptrend=0.01)		
内膜癌、1,778 名	【非喫煙者】		Q1: 1.00	Q1: 1.00		
を卵巣癌、1,796	子宮内膜癌:		$Q2: 1.22 \ (0.73 \sim 2.01)$	$Q2: 1.60 \ (0.85 \sim 3.02)$		
名を乳癌のサブ	150名/9,422人-年		Q3: $1.12 (0.65 \sim 1.92)$	Q3: 1.64 $(0.84 \sim 3.19)$		
コホートとした)	卵巣癌:		Q4: 1.28 $(0.77 \sim 2.13)$	Q4: 1.86 $(1.00 \sim 3.48)$		
	129名/11,446人-年		Q5: $1.78 (1.10 \sim 2.88)$	Q5: $2.22 (1.20 \sim 4.08)$		
	乳癌:					
	767名/11,540人-年		乳癌(Ptrend=0.79)	乳癌(Ptrend=0.55)		
			Q1: 1.00	Q1: 1.00		
	*2サブコホートの		$Q2:0.80 \ (0.64\sim1.02)$	$Q2:0.97\ (0.72\sim1.32)$		
	人 - 年		Q3: $0.92 (0.72 \sim 1.17)$	Q3: 1.17 $(0.85 \sim 1.61)$		
			Q4: $0.86 (0.67 \sim 1.10)$	Q4: 1.00 $(0.73 \sim 1.38)$		
			Q5: 0.93 $(0.73 \sim 1.19)$	Q5: 1.10 $(0.80 \sim 1.52)$		

a-2. オランダコホート研究 (NLCS)

対象集団	追跡期間・	FFQ による	HR (95%CI)		文献	国際
性別・人数	症例数	推定摂取量	*Q1: 1.00 (reference category))		機関
		(µg/日)				
オランダ	13.3 年	Q1:9.5	【全体】	【非喫煙者】	Pedersen	BfR
コホート	乳癌:	Q2:14.0	<全体> (Ptrend=0.48)	<全体> (Ptrend=0.48)	et al. 2010	2011
1986~1999 年	<全体>	Q3:17.9	$Q2:0.91\ (0.73\sim1.23)$	$Q2: 1.11 \ (0.84 \sim 1.48)$		
閉経後の女性	【全体】	Q4:24.3	Q3: $0.96 (0.76 \sim 1.19)$	Q3: 1.28 $(0.95 \sim 1.72)$		
55~69 歳	1,690名/22,879人-年	Q5:36.8	$Q4:0.89~(0.72\sim1.12)$	$Q4:1.08 (0.80\sim1.45)$		
(開始当時)	【非喫煙者】		Q5: $0.92 (0.73 \sim 1.15)$	Q5: 1.15 $(0.86 \sim 1.53)$		
62,573 名	953名/13,760人-年					
(サブコホート			<er 陽性="">(Ptrend=0.71)</er>	<er 陽性="">(Ptrend=0.26)</er>		
2,589 名。最終的	<er 陽性=""></er>		$Q2:0.93~(0.69\sim1.26)$	$Q2:1.14\ (0.75\sim1.73)$		
に 1,865 名を乳癌	【全体】		$Q3:0.98~(0.72\sim1.33)$	Q3: $1.32 (0.85 \sim 2.04)$		
のサブコホート	586名/22,879人-年		$Q4:0.92\ (0.67\sim1.26)$	$Q4: 1.21 \ (0.79 \sim 1.86)$		
とした)	【非喫煙者】		Q5: $0.93 (0.68 \sim 1.27)$	Q5: 1.31 $(0.87 \sim 1.97)$		
	321名/13,760人-年					
			<pr 陽性="">(Ptrend=0.95)</pr>	<pr 陽性="">(Ptrend=0.14)</pr>		
	<pr 陽性=""></pr>		$Q2: 1.04 \ (0.70 \sim 1.56)$	$Q2: 1.04 \ (0.59 \sim 1.82)$		
	【全体】		Q3: $0.96 (0.63 \sim 1.47)$	Q3: $1.46 (0.82 \sim 2.60)$		
	300名/22,879人-年		$Q4:0.94~(0.61\sim1.44)$	$Q4: 1.30 \ (0.74 \sim 2.28)$		
	【非喫煙者】		Q5: $1.03 (0.69 \sim 1.55)$	Q5: $1.47 (0.86 \sim 2.51)$		
	169名/13,760人-年					
			<er pr="" 及び="" 陽性=""></er>	<er pr="" 及び="" 陽性=""></er>		
	<er pr="" 及び="" 陽性=""></er>		(Ptrend=0.89)	(Ptrend=0.16)		
	【全体】		$Q2:1.06\ (0.70\sim1.59)$	$Q2:1.03\ (0.59\sim1.82)$		
	291名/22,879人-年		Q3: $0.94 (0.61 \sim 1.44)$	Q3: 1.32 $(0.74 \sim 2.38)$		
	【非喫煙者】		$Q4:0.93~(0.61\sim1.44)$	$Q4: 1.26 \ (0.71 \sim 2.23)$		
	164名/13,760人-年		Q5: $1.05 (0.69 \sim 1.59)$	$Q5: 1.43 \ (0.83 \sim 2.46)$		

a-2. オランダコホート研究(NLCS)(続き)

対象集団	追跡期間・	FFQ による	HR (95%CI)		文献	国 際
性別・人数	症例数	推定摂取量	※T1、T2、T3:第1三分位、第	2 三分位、第 3 三分位		機関
		(µg/∃)				
オランダ	13.3 年	Q1:9.5	【全体】	【非喫煙者】	Pedersen	BfR
コホート		Q2:14.0	<er 陰性="">(Ptrend=0.61)</er>	<er 陰性="">(Ptrend=0.77)</er>	et al. 2010	2011
1986~1999 年	<er 陰性=""></er>	Q3:17.9	Q1:1.00	T1 (Q1): 1.00		
閉経後の女性	【全体】	Q4:24.3	$Q2:0.56\ (0.31\sim1.00)$	T2 (Q3): $1.11 (0.61 \sim 2.02)$		
55~69 歳	150名/22,879人-年	Q5:36.8	Q3: 1.01 $(0.58 \sim 1.75)$	T3 (Q5): $0.95 (0.52 \sim 1.72)$		
(開始当時)	【非喫煙者】		$Q4: 1.13 \ (0.67 \sim 1.90)$			
62,573 名	83名/13,760人-年		Q5: $0.93 (0.53 \sim 1.62)$			
(サブコホート						
2,589 名。最終的	<pr 陰性=""></pr>		<pr 陰性="">(Ptrend=0.97)</pr>	<pr 陰性="">(Ptrend=0.56)</pr>		
に 1,865 名をサブ	【全体】		Q1:1.00	T1 (Q1): 1.00		
コホートとした)	160名/22,879人-年		$Q2:0.54\ (0.30\sim0.97)$	T2 (Q3): $0.98 (0.53 \sim 1.82)$		
	【非喫煙者】		Q3: $1.06 (0.62 \sim 1.79)$	T3 (Q5): $0.84 (0.63 \sim 1.56)$		
	83 名/13,760 人-年		$Q4:0.83\ (0.48\sim1.42)$			
			Q5: $0.87 (0.51 \sim 1.48)$			
	<er pr="" 及び="" 陰性=""></er>					
	【全体】		<er pr="" 及び="" 陰性=""></er>	<er pr="" 及び="" 陰性=""></er>		
	80名/22,879人-年		(Ptrend=0.80)	_		
	【非喫煙者】		T1 (Q1): 1.00	(症例数不十分なため)		
	43 名/13,760 人-年		T2 (Q3): $0.86 (0.46 \sim 1.58)$			
			T3 (Q5): $0.90 (0.48 \sim 1.68)$			

a-3. オランダコホート研究 (NLCS)

対象集団	追跡期間・	FFQによる推定摂取量	HR (95%CI)		文献	国際
性別・人数	症例数	(µg/目)	% Q1、T1:1 (referent)			機関
オランダ	16.3 年	Q1:10.1	【全体】	【非喫煙者】	Schouten	JECFA
コホート		Q2:14.7	頭頸部癌(Ptrend=0.40)	頭頸部癌	et al. 2009	2011b、
1986~2002 年	【全体】	Q3:18.8	$Q2:0.66\ (0.44\sim0.97)$	(Ptrend=0.07)		ATSDR
55~69 歳	頭頸部癌:	Q4:25.0	$Q3:0.77\ (0.52\sim1.13)$	Q3 (T2): 1.13		2012、
(開始当時)	357名/58,941人-年	Q5:37.2	$Q4:0.80 \ (0.55\sim1.18)$	$(0.65 \sim 1.97)$		BfR
120,852 名	口腔癌:		$Q5:0.74\ (0.50\sim1.09)$	Q5 (T3): 0.68		2011
・男性 58,279 名	101名/58,941人-年	T1: 12.0		$(0.37 \sim 1.25)$		
・女性 62,573 名	中咽頭及び下咽頭癌:	T2:18.8	口腔癌(Ptrend=0.49)			
(サブコホート	83名/58,941人-年	T3: 32.5	$Q2:0.70\ (0.37\sim1.33)$	<参考>		
5,000 名。最終的	喉頭癌:		$Q3:0.77\ (0.39\sim1.52)$	非喫煙女性		
に 4,111 名を頭頸	180名/58,941人-年		$Q4:0.77\ (0.39\sim1.53)$	口腔癌:		
部癌、口腔癌、中	甲状腺癌:		$Q5:0.72\ (0.36\sim1.42)$	21 名/22,328 人-年		
咽頭及び下咽頭	66名/60,628人-年			HR: 1.28		
癌及び喉頭癌、			中咽頭及び下咽頭癌 (Ptrend=0.17)	$(1.01 \sim 1.62)$		
4,232 名を甲状腺	【非喫煙者】		$T2:0.44\ (0.23\sim0.85)$	(アクリルアミド		
癌のサブコホー	頭頸部癌:		$T3:0.61 \ (0.33\sim 1.12)$	摂取量 10 μg 増加		
トとした)	90名/35,433人-年			当たり)		
	口腔癌:		喉頭癌(Ptrend=0.85)			
	39名/35,433人-年		$Q2:0.66\ (0.38\sim1.16)$			
	喉頭癌:		Q3: $1.06 (0.62 \sim 1.80)$			
	34名/35,433人-年		$Q4: 1.02 \ (0.60 \sim 1.74)$			
	甲状腺癌:		$Q5:0.93\ (0.54\sim1.58)$			
	49名/36,681人-年					
			甲状腺癌(Ptrend=0.42)			
			$T2: 1.14 \ (0.58 \sim 2.26)$			
			$T3: 1.33 \ (0.70 \sim 2.53)$			

b-1. スウェーデンマンモグラフィーコホート研究 (SMC: The Swedish Mammography Cohort)

対象集団	追跡期間・	FFQによる推定摂取量	RR (95%CI)		文献	国際
性別・人数	症例数	(μg/日)	Q1 : reference			機関
スウェーデン	~2003年	Q1:0~15.7	結腸直腸癌(Ptrend=0.85)	結腸癌(Ptrend=0.83)	Mucci et	JECFA
コホート		$Q2:15.8\sim20.7$	$Q2:1.1\ (0.9\sim1.4)$	$Q2: 1.1 \ (0.8 \sim 1.4)$	al. 2006	2011b、
1987~2003年	結腸癌:	Q3: $20.8 \sim 25.3$	Q3: 1.2 $(0.9 \sim 1.5)$	Q3: 1.2 $(0.9 \sim 1.7)$		EFSA
女性	504名/823,072人	$Q4:25.4\sim31.4$	$Q4: 1.1 \ (0.8 \sim 1.4)$	$Q4: 1.1 \ (0.8 \sim 1.5)$		2008、
1917~1948 年生ま	-年	Q5: $31.4 \sim 307.6$	Q5: 0.9 $(0.7 \sim 1.3)$	$Q5:0.9~(0.6\sim1.4)$		EPA
れ	直腸癌:			直腸癌(Ptrend=0.77)		2010、
(開始当時)	237名/823,072人			$Q2: 1.1 \ (0.7 \sim 1.6)$		ATSDR
66,651 名	-年			Q3: $1.0 (0.7 \sim 1.6)$		2012
(最終的に61,467名				$Q4:1.2~(0.8\sim1.9)$		
を調査対象とした)				Q5: 1.0 $(0.6 \sim 1.8)$		

b-2. スウェーデンマンモグラフィーコホート研究 (SMC)

対象集団	追跡期間・	FFQによる推定摂取量	RR (95%CI)		文献	国際
性別・人数	症例数	(µg/日)				機関
スウェーデン	17.7 年	【全体】	【全体】	【非喫煙者】	Larsson	JECFA
コホート	子宮内膜癌:	Q1: <19.9	子宮内膜癌(Ptrend=0.72)	子宮内膜癌(Ptrend=0.52)	et al.	2011b、
1987~2007年		$Q2:19.9\sim24.2$	Q1: 1.00	Q1: 1.00	2009b	EPA
女性	【全体】	Q3: $24.3 \sim 28.8$	$Q2:1.00\ (0.89\sim1.36)$	$Q2:1.31\ (0.85\sim2.04)$		2010、
1914~1948 年生ま	687 名/1,080,747	$Q4: \ge 28.9$	$Q3: 1.08 \ (0.88 \sim 1.34)$	Q3: $1.30 (0.83 \sim 2.02)$		ATSDR
れ	人-年		$Q4:0.96\ (0.76\sim1.21)$	$Q4: 1.20 \ (0.76 \sim 1.90)$		2012、
(開始当時)		【喫煙歴による解析】				BfR
66,651 名	【非喫煙者】	$Q1: \le 20.5$				2011
(最終的に 61,226	169 名/344,580	$Q2:20.5\sim24.6$				
名、喫煙歴による解	人-年	Q3: $24.7 \sim 29.1$				
析は36,369名を調査	(1998~2007年)	$Q4: \ge 29.2$				
対象とした)		(1998~2007年)				

b-3. スウェーデンマンモグラフィーコホート研究 (SMC)

対象集団	追跡期間・	FFQによる推定摂取量	RR (95%CI)		文献	国際
性別・人数	症例数	(µg/目)	% Q1: 1.00 (referent)			機関
スウェーデン	17.4 年	【全体】	【全体】	【非喫煙者】	Larsson	JECFA
コホート	浸潤性乳癌:	Q1: <19.9	<全体> (Ptrend=0.06)	<全体> (Ptrend=0.43)	et al.	2011b、
1987~2007年		$Q2:19.9\sim24.2$	$Q2:1.02\ (0.92\sim1.14)$	$Q2:1.18\ (0.92\sim1.51)$	2009d	EPA
女性	【全体】	Q3: $24.3 \sim 28.8$	$Q3:0.95\ (0.85\sim1.06)$	Q3: $1.03 (0.78 \sim 1.37)$		2010、
1914~1948 年生ま	<全体>	$Q4: \ge 28.9$	$Q4:0.91 \ (0.80\sim1.02)$	$Q4:0.91\ (0.65\sim1.27)$		ATSDR
れ	2,952 名					2012、
(開始当時)	/1,071,164 人-年		$\langle \mathrm{ER} + \mathrm{PR} + \rangle$	<ER $+$ PR $+>$		BfR
66,651 名			(Ptrend=0.22)	(Ptrend=0.25)		2011
(最終的に 61,433	<ER $+$ PR $+>$		$Q2:1.08\ (0.91\sim1.27)$	$Q2:1.17\ (0.84\sim1.64)$		
名、喫煙歴による解	1,286 名		Q3: $1.07 (0.90 \sim 1.26)$	Q3: $1.07 (0.73 \sim 1.56)$		
析は36,664名を調査			$Q4:0.89 \ (0.74\sim1.08)$	$Q4:0.78~(0.49\sim1.24)$		
対象とした)	<ER $+$ PR $->$					
	417名		$\langle ER+PR- \rangle$	<ER $+$ PR $->$		
			(Ptrend=0.76)	(Ptrend=0.79)		
	<ER $-$ PR $->$		$Q2: 1.29 \ (0.97 \sim 1.74)$	$Q2:1.18\ (0.68\sim2.05)$		
	266 名		Q3: 0.91 $(0.66 \sim 1.27)$	Q3: $1.19 (0.65 \sim 2.20)$		
			$Q4: 1.17 \ (0.84 \sim 1.64)$	$Q4:1.12\ (0.56\sim2.27)$		
	【非喫煙者】					
	346,163 人-年		<er-pr-></er-pr->	$\langle ER-PR- \rangle$		
	(1998~2007年)		(Ptrend=0.64)	(Ptrend=0.99)		
	(非喫煙者のみの		$Q2:0.99\ (0.69\sim1.42)$	$Q2:1.16\ (0.58\sim2.32)$		
	症例数記載なし)		Q3: $0.96 (0.66 \sim 1.41)$	Q3: $0.67 (0.28 \sim 1.63)$		
			$Q4:0.91\ (0.61\sim1.38)$	$Q4: 1.12 \ (0.45 \sim 2.76)$		

b-4. スウェーデンマンモグラフィーコホート研究 (SMC)

対象集団	追跡期間・	FFQによる推定摂取量	RR (95%CI)		文献	国際
性別・人数	症例数	(μg/日)				機関
スウェーデン	17.5	【全体】	【全体】	【非喫煙者】	Larsson	JECFA
コホート		Q1: <19.9	<全体> (Ptrend=0.39)	(Ptrend=0.80)	et al.	2011b、
1987~2007年	浸潤性上皮性卵巣	$Q2:19.9\sim24.2$	Q1: 1.00	Q1: 1.00	2009e	EPA
女性	癌:	Q3: $24.3 \sim 28.8$	$Q2:0.91 \ (0.68\sim1.21)$	$Q2:1.32\ (0.71\sim2.45)$		2010、
1914~1948 年生ま		$Q4: \ge 28.9$	Q3: $0.97 (0.73 \sim 1.29)$	Q3: 1.10 $(0.57 \sim 2.09)$		ATSDR
れ	【全体】		$Q4:0.86\ (0.63\sim1.16)$	$Q4:0.97\ (0.49\sim1.93)$		2012、
(開始当時)	<全体>	【喫煙歴による解析】				BfR
66,651 名	368名/1,069,268	$Q1: \le 20.5$	<漿液性>(Ptrend=0.88)	<参考>		2011
(最終的に 61,057	人-年	$Q2:20.5\sim24.6$	Q1: 1.00	【元喫煙者】		
名、喫煙歴による解		Q3: $24.7 \sim 29.1$	$Q2:1.13\ (0.75\sim1.70)$	(Ptrend=0.24)		
析は36,442名を調査	<漿液性>	$Q4: \ge 29.2$	Q3: $1.08 (0.70 \sim 1.65)$	Q1: 1.00		
対象とした)	182名	(1998~2007年)	$Q4:1.05\ (0.68\sim1.63)$	$Q2:0.83\ (0.38\sim1.84)$		
				Q3: 0.90 $(0.42 \sim 1.96)$		
	【非喫煙者】			$Q4: 1.42 \ (0.71 \sim 2.82)$		
	75名					
	(1998~2007年)					

d. 英国での女性に対するコホート研究 (UKWCS: The UK Women's Cohort Study)

対象集団	追跡期間・	FFQによる推定摂取量	HR (95%CI)		文献	国際
性別・人数	症例数	(µg/日)				機関
英国	11 年	【全体】	【全体】	【非喫煙者】	Burley	BfR
コホート		Q1:0~9	<全体>	<全体>	et al.	2011
1995 年~	乳癌:	Q2:9~13	Q1: 1.00	Q1:1.00	2010	
女性		Q3:13~17	$Q2:1.06\ (0.83\sim1.35)$	$Q2:0.87\ (0.63\sim1.20)$		
35~69 歳	【全体】	Q4: $17\sim23$	Q3: $1.05 (0.82 \sim 1.34)$	Q3: $0.95 (0.69 \sim 1.30)$		
(開始当時)	<全体>	Q5:23~150	Q4: 1.12 $(0.87 \sim 1.45)$	$Q4:0.96\ (0.69\sim1.34)$		
35,372 名	1,084名/33,731名		$Q5: 1.16 \ (0.88 \sim 1.52)$	Q5: $0.98 (0.69 \sim 1.40)$		
(最終的に33,731名						
を調査対象とした)	<閉経前>		<閉経前>	<閉経前>		
	438名/15,951名		Q1: 1.00	Q1:1.00		
			$Q2: 1.06 \ (0.71 \sim 1.59)$	$Q2:0.68\ (0.39\sim1.20)$		
	<閉経後>		Q3: $1.15 (0.77 \sim 1.71)$	Q3: $1.12 (0.69 \sim 1.83)$		
	631名/17,779名		$Q4: 1.15 \ (0.76 \sim 1.73)$	$Q4:0.98~(0.59\sim1.62)$		
			Q5: $1.47 (0.96 \sim 2.27)$	Q5: $1.17 (0.69 \sim 2.00)$		
	【非喫煙者】					
	<全体>		<閉経後>	<閉経後>		
	607名/18,902名		Q1: 1.00	Q1:1.00		
			$Q2:1.06\ (0.78\sim1.44)$	$Q2:0.98\ (0.66\sim1.46)$		
	<閉経前>		Q3: $1.00 (0.73 \sim 1.38)$	Q3: $0.83 (0.54 \sim 1.26)$		
	253 名/9,132 名		$Q4: 1.14 \ (0.82 \sim 1.58)$	$Q4:0.99~(0.64\sim1.53)$		
			$Q5:0.97\ (0.68\sim1.39)$	Q5: $0.86 (0.53 \sim 1.37)$		
	<閉経後>					
	347 名/9,762 名					

e-1. 米国での健康調査 (NHS-Ⅱ: The Nurses' Health Study Ⅱ)

対象集団	追跡期間・	FFQ による推定	RR (95%CI)		文献	国 際
性別・人数	症例数	摂取量				機関
		(μg/日)				
米国	14年	Q1:10.8	【全体】	【非喫煙者】	Wilson	JECFA
コホート	乳癌:	Q2:16.6	<全体> (Ptrend=0.61)	(Ptrend=0.33)	et al.	2011b、
1991~2005年	【全体】	Q3:20.2	Q1:1.00	Q1: 1.00	2009b	EPA
閉経前の	<全体>	Q4:24.6	$Q2:0.95~(0.79\sim1.14)$	$Q2:0.91\ (0.73\sim1.14)$		2010、
女性看護師	1,179名/945,764人	Q5:37.8	$Q3:0.94~(0.78\sim1.13)$	Q3: $0.94 (0.75 \sim 1.18)$		ATSDR
26~46 歳	-年		$Q4:1.03~(0.87\sim1.24)$	Q4: 1.08 $(0.86 \sim 1.34)$		2012、
(開始当時)			Q5: $0.92 (0.76 \sim 1.11)$	Q5: $0.82 (0.64 \sim 1.05)$		BfR
116,671 名	<ER $+$ PR $+>$					2011
(最終的に	597 名		<ER $+$ PR $+>$ (Ptrend=0.45)			
90,628名を調査			Q1:1.00			
対象とした)	$\langle ER-PR-\rangle$		$Q2: 1.14 \ (0.88 \sim 1.48)$			
	196 名		Q3: $0.98 (0.75 \sim 1.28)$			
			$Q4: 1.16 \ (0.90 \sim 1.50)$			
	【非喫煙者】		Q5: 1.11 $(0.85 \sim 1.46)$			
	738 名					
	(非喫煙者の		<ER $-$ PR $->$ (Ptrend=0.62)			
	person-years 不明)		Q1: 1.00			
			$Q2: 1.09 \ (0.70 \sim 1.68)$			
			Q3: $0.85 (0.53 \sim 1.35)$			
			$Q4: 1.04 \ (0.67 \sim 1.62)$			
			Q5: 0.90 $(0.57 \sim 1.43)$			

e-2. 米国での健康調査 (NHS: The Nurses' Health Study)

対象集団	追跡期間・	FFQ によ	RR (95%CI)			文献	国際
性別・人数	症例数	る推定摂					機関
		取量					
		(µg/∃)					
米国	26 年	Q1:8.7	【全体】	【非喫煙者】	【閉経後】	Wilson	ATSDR
コホート		Q2:12.7	乳癌(Ptrend=0.50)	乳癌(Ptrend=0.18)	乳癌(Ptrend=0.22)	et al.	2012、
1980~2006年	【全体】	Q3:15.7	Q1: 1.00	Q1: 1.00	Q1: 1.00	2010	BfR
女性看護師	乳癌:	Q4:19.0	$Q2:0.93\ (0.86\sim1.01)$	$Q2:0.91\ (0.81\sim1.02)$	$Q2:0.92\ (0.84\sim1.00)$		2011
30~55 歳	6,301 名	Q5:25.1	Q3: $0.98 (0.91 \sim 1.06)$	Q3: $0.93 (0.83 \sim 1.05)$	Q3: $0.97 (0.89 \sim 1.06)$		
(開始当時)	/2,024,671 人-年		$Q4:0.98 (0.90\sim1.06)$	$Q4:0.94\ (0.84\sim1.06)$	Q4: 0.93 $(0.85 \sim 1.01)$		
121,700 名	子宮内膜癌:		Q5: $0.95 (0.87 \sim 1.03)$	Q5: $0.89 (0.78 \sim 1.02)$	Q5: 0.93 $(0.84 \sim 1.02)$		
(最終的に	484 名						
88,672 名を乳	/1,386,886 人-年		子宮内膜癌	子宮内膜癌	子宮内膜癌		
癌、69,019 名を	卵巣癌:		(Ptrend=0.03)	(Ptrend=0.04)	(Ptrend=0.11)		
子宮内膜癌、	416名		Q1: 1.00	Q1: 1.00	Q1: 1.00		
80,011 名を卵巣	/1,228,859 人-年		$Q2: 1.12 \ (0.83 \sim 1.50)$	$Q2:0.97\ (0.64\sim1.46)$	$Q2: 1.11 \ (0.80 \sim 1.53)$		
癌の調査対象と			Q3: 1.31 $(0.97 \sim 1.77)$	Q3: $1.35 (0.90 \sim 2.02)$	Q3: $1.36 (0.98 \sim 1.88)$		
した)	【非喫煙者】		$Q4:1.35\ (0.99\sim1.84)$	Q4: 1.47 $(0.97 \sim 2.24)$	$Q4: 1.38 \ (0.98 \sim 1.94)$		
	乳癌:		Q5: 1.41 $(1.01 \sim 1.97)$	Q5: 1.43 $(0.90 \sim 2.28)$	Q5: $1.29 (0.89 \sim 1.89)$		
	2,752 名						
	/919,731 人-年		卵巣癌(Ptrend=0.12)	卵巣癌(Ptrend=0.63)	卵巣癌(Ptrend=0.28)		
	子宮内膜癌:		Q1: 1.00	Q1: 1.00	Q1: 1.00		
	257 名		$Q2:0.93\ (0.68\sim1.29)$	$Q2: 1.17 \ (0.72 \sim 1.88)$	$Q2:0.90\ (0.62\sim1.30)$		
	/627,668 人-年		Q3: 1.29 $(0.94 \sim 1.76)$	Q3: $1.04 (0.63 \sim 1.74)$	Q3: $1.30 (0.91 \sim 1.87)$		
	卵巣癌:		$Q4: 1.17 \ (0.84 \sim 1.64)$	$Q4: 1.11 \ (0.63 \sim 1.94)$	Q4: 1.19 $(0.81 \sim 1.76)$		
	156名		$Q5: 1.25 \ (0.88 \sim 1.77)$	Q5: 1.19 $(0.66 \sim 2.15)$	Q5: $1.16 (0.76 \sim 1.78)$		
	/550,710 人-年						

e-2. 米国での健康調査 (NHS) (続き)

対象集団	追跡期間·	FFQ によ	RR (95%CI)			文献	国際
性別・人数	症例数	る推定摂					機関
		取量					
		(µg/∃)					
米国	26 年	Q1:8.7	【閉経前】	【BMI25 kg/m²未満】	【BMI25 kg/m²以上】	Wilson	ATSDR
コホート		Q2:12.7	乳癌(Ptrend=0.23)	乳癌(Ptrend=0.17)	乳癌(Ptrend=0.87)	et al.	2012、
$1980 \sim 2006$	【閉経後】	Q3:15.7	Q1: 1.00	Q1: 1.00	Q1: 1.00	2010	BfR
年	乳癌:5,079名	Q4:19.0	$Q2:0.96\ (0.76\sim1.21)$	$Q2:0.96\ (0.85\sim1.07)$	$Q2:0.92\ (0.82\sim1.02)$		2011
女性看護師	子宮内膜癌:410名	Q5:25.1	Q3: 0.96 $(0.76 \sim 1.21)$	Q3: $0.96 (0.85 \sim 1.07)$	Q3: 1.01 $(0.90 \sim 1.13)$		
30~55 歳	卵巣癌:308 名		Q4: 1.17 $(0.94 \sim 1.46)$	Q4: $0.95 (0.84 \sim 1.06)$	Q4: 1.01 $(0.90 \sim 1.13)$		
(開始当時)			Q5: $1.07 (0.87 \sim 1.33)$	Q5: $0.92 (0.81 \sim 1.03)$	Q5: $0.97 (0.86 \sim 1.09)$		
121,700 名	【閉経前】						
(最終的に	乳癌:882名		子宮内膜癌	子宮内膜癌	子宮内膜癌		
88,672 名を	子宮内膜癌:65名		(Ptrend=0.05)	(Ptrend=0.004)	(Ptrend=0.62)		
乳癌、69,019	卵巣癌:90名		Q1: 1.00	Q1: 1.00	Q1: 1.00		
名を子宮内			$Q2: 1.09 \ (0.46 \sim 2.62)$	Q2: 1.70 $(0.94 \sim 3.09)$	Q2: 0.92 $(0.64 \sim 1.32)$		
膜癌、80,011	[BMI<25]		Q3: 1.00 $(0.39 \sim 2.58)$	Q3: $2.08 (1.15 \sim 3.77)$	Q3: $1.07 (0.74 \sim 1.54)$		
名を卵巣癌	乳癌:3,013名		$Q4:0.85 (0.32\sim2.26)$	Q4: 2.41 $(1.32 \sim 4.38)$	Q4: 0.99 $(0.67 \sim 1.46)$		
の調査対象	子宮内膜癌:161名		$Q5: 2.27 \ (0.96 \sim 5.40)$	Q5: $2.51 (1.32 \sim 4.77)$	Q5: $1.08 (0.72 \sim 1.64)$		
とした)	卵巣癌:229名						
			卵巣癌(Ptrend=0.19)	卵巣癌(Ptrend=0.01)	卵巣癌(Ptrend=0.86)		
	【BMI≥25】		Q1: 1.00	Q1: 1.00	Q1: 1.00		
	乳癌:3,288名		$Q2: 1.10 \ (0.51 \sim 2.41)$	$Q2: 1.27 \ (0.82 \sim 1.97)$	Q2: $0.66 (0.40 \sim 1.08)$		
	子宮内膜癌:322名		Q3: 1.48 $(0.69 \sim 3.17)$	Q3: $1.56 (1.00 \sim 2.43)$	Q3: 1.01 $(0.64 \sim 1.61)$		
	卵巣癌:187名		Q4: $1.32 (0.61 \sim 2.86)$	Q4: 1.47 $(0.92 \sim 2.36)$	Q4: $0.95 (0.58 \sim 1.54)$		
			Q5: 1.63 $(0.76 \sim 3.46)$	Q5: 1.84 $(1.14 \sim 2.97)$	Q5: $0.84 (0.49 \sim 1.44)$		

e-2. 米国での健康調査 (NHS) (続き)

対象集団	追跡期間•	FFQによる	RR (95%CI)			文献	国際
性別・人数	症例数	推定摂取量	% Q1: 1.00				機関
		(μg/日)					
米国	26 年	Q1:8.7	【乳癌】	【卵巣癌】		Wilson	ATSDR
コホート		Q2:12.7	$\langle ER+PR+ \rangle$ (Ptrend=0.99)	浸潤性(Ptrend=0.09)	漿液性(Ptrend=0.04)	et al.	2012、
1980 ~	【乳癌】	Q3:15.7	$Q2:0.98\ (0.87\sim1.10)$	$Q2:0.98 \ (0.69\sim1.38)$	$Q2:1.11\ (0.71\sim1.73)$	2010	BfR
2006年	<ER $+$ PR $+>$	Q4:19.0	$Q3:0.99~(0.88\sim1.12)$	Q3:1.45 (1.03~2.03)	Q3: 1.43 $(0.92 \sim 2.22)$		2011
女性看護師	2,805名	Q5:25.1	$Q4:0.99~(0.87\sim1.11)$	Q4:1.28 (0.89~1.83)	$Q4: 1.39 \ (0.88 \sim 2.20)$		
30~55 歳	<ER $+$ PR $->$		$Q5:0.99~(0.87{\sim}1.13)$	$Q5: 1.31 \ (0.89 \sim 1.92)$	Q5: $1.58 (0.99 \sim 2.52)$		
(開始当	737 名						
時)	<ER $-$ PR $+>$		$\langle ER+PR-\rangle$ (Ptrend=0.88)	境界性(Ptrend=0.92)	漿液性及び浸潤性		
121,700 名	138名		$Q2: 1.09 \ (0.87 \sim 1.38)$	$Q2:0.74\ (0.31\sim1.77)$	(Ptrend=0.04)		
(最終的に	<ER $-$ PR $->$		$Q3: 1.20 \ (0.95 \sim 1.51)$	Q3: $0.57 (0.22 \sim 1.51)$	$Q2:1.14\ (0.70\sim1.86)$		
88,672 名	839名		$Q4:1.08\ (0.85\sim1.37)$	$Q4:0.74\ (0.29\sim1.87)$	Q3: $1.59 (0.99 \sim 2.57)$		
を乳癌、			$Q5: 1.04 \ (0.80 \sim 1.34)$	Q5: 0.99 $(0.40 \sim 2.46)$	Q4: $1.52 (0.92 \sim 2.51)$		
69,019 名	【卵巣癌】				Q5: 1.67 $(0.99 \sim 2.81)$		
を子宮内膜	浸潤性:		$\langle ER-PR+ \rangle$ (Ptrend=0.35)				
癌、80,011	363名		$Q2:0.78\ (0.45\sim1.37)$				
名を卵巣癌	境界性:		$Q3:0.66\ (0.37\sim1.20)$				
の調査対象	51名		$Q4: 1.18 \ (0.70 \sim 1.98)$				
とした)	漿液性:		$Q5: 1.09 \ (0.63 \sim 1.87)$				
	245 名						
	漿液性及び		$\langle ER-PR-\rangle$ (Ptrend=0.52)				
	浸潤性:		$Q2:0.86\ (0.69\sim1.07)$				
	207名		Q3: $0.94 (0.76 \sim 1.17)$				
			$Q4:0.95 (0.77 \sim 1.19)$				
			Q5: $0.88 (0.70 \sim 1.11)$				

f-1. スウェーデン男性のコホート研究 (CSM: The Cohort of Swedish Men)

対象集団	追跡期間・	FFQによる推定摂取量	RR (95%CI)		文献	国際
性別・人数	症例数	(μg/日)				機関
スウェーデン	9.1 年	Q1: <28.3	【全体】	【非喫煙者】	Larsson	JECFA
コホート	前立腺癌:	$Q2:28.3\sim33.1$	<全体> (Ptrend=0.34)	<全体> (Ptrend=0.28)	et al.	2011b、
1998~2007年		Q3:33.2 \sim 37.6	Q1:1.00	Q1: 1.00	2009a	EPA
男性	【全体】	$Q4:37.7\sim43.3$	$Q2:0.86\ (0.71\sim1.04)$	$Q2: 1.01 \ (0.84 \sim 1.20)$		2010、
45~79 歳	<全体>	$Q5: \ge 43.4$	Q3: $1.02 (0.84 \sim 1.23)$	Q3: $0.95 (0.79 \sim 1.14)$		ATSDR
(開始当時)	2,696 名/412,788		$Q4:0.90\ (0.73\sim1.10)$	$Q4:0.93\ (0.77\sim1.13)$		2012、
48,850 名	人-年		Q5: $0.88 (0.70 \sim 1.09)$	$Q5:0.91\ (0.74\sim1.13)$		BfR
(最終的に45,306名	<限局性>					2011
を調査対象とした)	1,088 名/376,210		<限局性>(Ptrend=0.99)	<限局性> (Ptrend=0.56)		
	人-年		Q1: 1.00	Q1: 1.00		
	<進行性>		$Q2: 1.20 \ (1.01 \sim 1.43)$	$Q2:1.07\ (0.82\sim1.39)$		
	951名/376,210		Q3: $1.09 (0.90 \sim 1.31)$	Q3: $1.02 (0.77 \sim 1.34)$		
	人-年		$Q4: 1.04 \ (0.86 \sim 1.27)$	$Q4:1.04\ (0.78\sim1.38)$		
			$Q5: 1.07 \ (0.87 \sim 1.32)$	Q5: $0.92 (0.67 \sim 1.27)$		
	【非喫煙者】					
	<全体>		<進行性> (Ptrend=0.99)	<進行性>(Ptrend=0.15)		
	1,088名/149,107		Q1:1.00	Q1: 1.00		
	人-年		$Q2:0.91\ (0.75\sim1.09)$	$Q2:0.87\ (0.64\sim1.18)$		
	<限局性>		Q3: $1.02 (0.84 \sim 1.24)$	Q3: $0.94 (0.69 \sim 1.28)$		
	483 名/135,711		$Q4:0.97\ (0.79\sim1.18)$	$Q4:0.83 \ (0.59\sim1.16)$		
	人-年		$Q5:0.98\ (0.78\sim1.22)$	$Q5:0.75\ (0.51\sim1.10)$		
	<進行性>					
	351 名/135,711					
	人-年					

f-2. スウェーデン男性のコホート研究(CSM)

対象集団	追跡期間・	FFQによる推定摂取量	RR (95%CI)	文献	国際
性別・人数	症例数	(µg/日)	%Q1:1.00		機関
スウェーデン	9.3 年	$Q1: \le 29.6$	結腸直腸癌(Ptrend=0.69)	Larsson	EPA
コホート		$Q2:29.6\sim35.3$	$Q2:1.02\ (0.83\sim1.25)$	et al.	2010、
1998~2007年	結腸直腸癌:	Q3:35.4~41.6	$Q3:1.03\ (0.83\sim1.28)$	2009e	ATSDR
男性	676名/421,000人-年	$Q4: \ge 41.7$	$Q4:0.95\ (0.74\sim1.20)$		2012、
1918~1952 年生ま					BfR
れ	結腸癌:		結腸癌(Ptrend=0.78)		2011
(開始当時)	410名		$Q2:1.00\ (0.77\sim1.30)$		
48,850名	(近位結腸癌:180 名、		Q3: $0.96 (0.72 \sim 1.27)$		
(最終的に 45,306	遠位結腸癌:153名、		$Q4:0.97\ (0.71\sim1.31)$		
名を調査対象とし	不明:77名)				
た)			近位結腸癌(Ptrend=0.63)		
	直腸癌:		$Q2:0.94\ (0.63\sim1.40)$		
	266 名		Q3: $1.10 (0.73 \sim 1.65)$		
			$Q4:0.84\ (0.52\sim1.35)$		
			遠位結腸癌(Ptrend=0.84)		
			$Q2:1.05\ (0.68\sim1.60)$		
			Q3: $0.77 (0.47 \sim 1.25)$		
			$Q4: 1.13 \ (0.70 \sim 1.81)$		
			直腸癌(Ptrend=0.78)		
			$Q2:1.05 \ (0.76\sim1.46)$		
			Q3: $1.15 (0.82 \sim 1.61)$		
			$Q4:0.91 \ (0.62\sim1.34)$		

g. 医療従事者に対する健康調査 (HPFS: The Health Professionals' Follow-up Study)

対象集団	追跡期間・	FFQによる推定摂取量			文献	国際
性別・人数	症例数	(µg/日)	% Q1 : 1.00			機関
米国	20年	Q1: 10.5	【全体】	【非喫煙者】	Wilson	_
コホート	前立腺癌:	Q2:16.7	<全体> (Ptrend=0.90)	<全体> (Ptrend=0.28)	et al.	
1986~2006 年		Q3:20.8	$Q2: 1.10 \ (1.01 \sim 1.20)$	$Q2: 1.07 \ (0.93 \sim 1.23)$	2012	
男性	【全体】	Q4:25.7	Q3: $1.08 (0.99 \sim 1.18)$	Q3: $1.12 (0.97 \sim 1.29)$		
45~75 歳	5,025名/51,529名	Q5:40.1	$Q4:1.06\ (0.97\sim1.16)$	$Q4:0.97\ (0.84\sim1.13)$		
(開始当時)	致死性:642名		Q5: $1.02 (0.92 \sim 1.13)$	$Q5: 1.01 \ (0.85 \sim 1.19)$		
51,529 名	進行性:896名					
(最終的に47,896名	限局性: 3,221 名		<致死性> (Ptrend=0.72)	<致死性>(Ptrend=0.61)		
を調査対象とした)			$Q2: 1.01 \ (0.81 \sim 1.26)$	$Q2:0.93\ (0.64\sim1.34)$		
	【非喫煙者】		Q3: $0.72 \ (0.56 \sim 0.93)$	Q3: $0.69 (0.45 \sim 1.06)$		
	1,925 名		$Q4:0.95 \ (0.74\sim1.22)$	$Q4:0.94\ (0.61\sim1.43)$		
	致死性: 237 名		$Q5:0.98\ (0.75\sim1.27)$	$Q5:0.90\ (0.56\sim1.45)$		
	進行性:344名					
	限局性:1,298名		<進行性> (Ptrend=0.81)	<進行性> (Ptrend=0.52)		
			$Q2:1.00 \ (0.83\sim1.21)$	$Q2:0.93\ (0.68\sim1.26)$		
			Q3: $0.79 (0.64 \sim 0.98)$	Q3: $0.76 (0.54 \sim 1.08)$		
			$Q4:0.97\ (0.79\sim1.20)$	$Q4:0.89 \ (0.62\sim1.26)$		
			$Q5:0.98\ (0.79\sim1.23)$	$Q5:0.91\ (0.62\sim1.33)$		
			<限局性>(Ptrend=0.55)	<限局性> (Ptrend>0.99)		
			$Q2:1.17\ (1.05\sim1.31)$	$Q2: 1.23 \ (1.03 \sim 1.46)$		
			Q3: $1.17 (1.05 \sim 1.31)$	Q3: 1.23 $(1.03 \sim 1.47)$		
			$Q4: 1.12 \ (1.00 \sim 1.26)$	$Q4:1.06\ (0.88\sim1.29)$		
			$Q5: 1.09 \ (0.96 \sim 1.23)$	$Q5: 1.09 \ (0.88 \sim 1.34)$		

g. 医療従事者に対する健康調査 (HPFS) (続き)

対象集団	追跡期間·	FFQによる推定摂取量	RR (95%CI)		文献	国 際
性別・人数	症例数	(μg/日)	%Q1:1.00			機関
米国	20 年	Q1:10.5	【グリーソンスコア】	【潜伏期間】	Wilson	-
コホート	前立腺癌:	Q2:16.7	<全体>	<0~4年> (Ptrend=0.43)	et al.	
$1986 \sim 2006$		Q3:20.8	高悪性(Ptrend=0.97)	$Q2:1.07\ (0.97\sim1.17)$	2012	
年	【グリーソンスコア】	$\mathrm{Q4}:25.7$	$Q2: 1.23 \ (1.06 \sim 1.41)$	$Q3:1.09\ (0.99\sim1.20)$		
男性	<全体>	Q5:40.1	Q3: $1.15 (0.99 \sim 1.33)$	$Q4:1.07\ (0.97\sim1.18)$		
45~75 歳	高悪性:1,892名		$Q4: 1.17 \ (1.01 \sim 1.36)$	$Q5: 1.05 \ (0.95 \sim 1.16)$		
(開始当時)	(スコア 7~10)		$Q5: 1.04 \ (0.88 \sim 1.23)$			
51,529 名	低悪性: 2,134 名			<4~8年> (Ptrend=0.47)		
(最終的に	(スコア 2~6)		低悪性(Ptrend=0.45)	$Q2: 1.04 \ (0.94 \sim 1.14)$		
47,896 名を調	<非喫煙者>		$Q2: 1.06 \ (0.92 \sim 1.21)$	$Q3: 1.01 \ (0.91 \sim 1.11)$		
査対象とした)	高悪性:744名		$Q3: 1.07 \ (0.94 \sim 1.23)$	$Q4: 1.11 \ (1.01 \sim 1.22)$		
	低悪性:878名		$Q4: 1.04 \ (0.90 \sim 1.20)$	$Q5: 1.02 \ (0.92 \sim 1.13)$		
			$Q5: 1.08 \ (0.93 \sim 1.25)$			
	【潜伏期間】			$<$ 8 \sim 12 年 $>$ (Ptrend=0.06)		
	<0~4年>		<非喫煙者>	$Q2:0.98 \ (0.88\sim1.09)$		
	4,236 名		高悪性(Ptrend=0.85)	$Q3: 1.00 \ (0.90 \sim 1.12)$		
	<4~8年>		$Q2: 1.09 \ (0.87 \sim 1.36)$	$Q4:0.99~(0.88\sim1.11)$		
	3,998 名		Q3: $1.15 (0.92 \sim 1.44)$	$Q5:0.89\ (0.79\sim1.00)$		
	<8~12年>		$Q4:0.99~(0.78\sim1.27)$			
	3,084 名		Q5: $1.02 (0.78 \sim 1.32)$	<12~16年> (Ptrend=0.93)		
	<12~16年>			$Q2: 1.07 \ (0.93 \sim 1.23)$		
	2,156 名		低悪性(Ptrend=0.80)	$Q3: 1.05 (0.91 \sim 1.20)$		
			$Q2: 1.14 \ (0.92 \sim 1.40)$	$Q4: 1.08 \ (0.94 \sim 1.24)$		
			Q3: $1.17 (0.94 \sim 1.44)$	$Q5: 1.00 \ (0.87 \sim 1.16)$		
			$Q4: 1.04 \ (0.83 \sim 1.30)$			
			$Q5: 1.09 \ (0.85 \sim 1.40)$			

h. αトコフェロール/βカロテンがん予防試験(ATBC: The Alpha-Tocopherol, Beta-Carotene Cancer Prevention Study)

対象集団	追跡期間・	FFQによる推定摂取量	RR (95%CI)		文献	国際
性別・人数	症例数	(μg/日)	%Q1:1.00			機関
フィンランド	10.2 年	Q1:21.9	肺癌(Ptrend=0.11)	胃癌(Ptrend=0.78)	Hirvone	ATSDR
コホート		Q2:30.6	$Q2:1.01\ (0.86\sim1.18)$	$Q2: 1.42 \ (0.94 \sim 2.13)$	n et al.	2012
1985~1999年	肺癌:	Q3:36.7	Q3: 1.11 $(0.95 \sim 1.29)$	Q3: $0.78 (0.49 \sim 1.26)$	2010	
男性喫煙者	1,703 名	Q4:43.9	$Q4:0.93\ (0.79\sim1.10)$	$Q4:1.34~(0.88\sim2.05)$		
(平均喫煙年数 36	前立腺癌:	Q5:55.7	Q5: $1.18 (1.01 \sim 1.38)$	Q5: $0.96 (0.60 \sim 1.53)$		
年)	799名					
50~69 歳	尿路上皮癌:		前立腺癌(Ptrend=0.43)	膵臓癌(Ptrend=0.89)		
(開始当時)	365 名		$Q2:0.95\ (0.76\sim1.19)$	$Q2:0.98~(0.61\sim1.56)$		
29,133名	結腸直腸癌:		Q3: $1.03 (0.83 \sim 1.29)$	Q3: $1.08 (0.69 \sim 1.71)$		
(最終的に 27,111 名	316名		$Q4:1.06\ (0.84\sim1.33)$	$Q4:1.06~(0.66\sim1.69)$		
を調査対象とした)	胃癌:		$Q5:1.05\ (0.83\sim1.32)$	Q5: $1.00 (0.62 \sim 1.62)$		
	224名					
	膵臓癌:		尿路上皮癌(Ptrend=0.71)	腎細胞癌(Ptrend=0.12)		
	192名		$Q2:0.91\ (0.65\sim1.27)$	$Q2:0.94~(0.55\sim1.62)$		
	腎細胞癌:		Q3: $1.06 (0.77 \sim 1.47)$	Q3: $1.65 (1.02 \sim 2.67)$		
	184名		$Q4:0.78\ (0.55\sim1.11)$	$Q4:1.47~(0.89\sim2.41)$		
	リンパ腫:		Q5: 0.99 $(0.71 \sim 1.39)$	Q5: 1.28 $(0.76 \sim 2.15)$		
	175名					
			結腸直腸癌(Ptrend=0.75)	リンパ腫(Ptrend=0.67)		
			$Q2:0.93\ (0.66\sim1.32)$	$Q2:0.93\ (0.56\sim1.53)$		
			Q3: $0.89 (0.62 \sim 1.26)$	Q3: $1.17 (0.73 \sim 1.88)$		
			$Q4:0.95\ (0.67\sim1.36)$	$Q4:0.98~(0.59\sim1.61)$		
			Q5: 0.93 $(0.65 \sim 1.34)$	Q5: $1.10 (0.67 \sim 1.80)$		

j. デンマークコホート内症例対照研究(ヘモグロビン付加体を指標)

対象集団	追跡期	ヘモグロビン付加体濃	IRR (95%CI、P _{value})	文献	国際
性別・人数	間•症例	度(pmol/g グロビン)	※AA-Hb 及び GA-Hb 濃度 10 倍増加当たりの罹患率比		機関
	群及び	(中央値(5~95%))	Because of the log-transformation, the IRR's correspond to a 10-times increment in concentration and		
	対照群		resemble comparisons of the women with the highest and the women with the lowest adduct		
			concentrations.		
デンマーク	4.2 年	【症例群】	【全体】 <喫煙で調整>	Olesen	JECFA
コホート内	(2000	・全体	$Log AA$ -Hb: 1.05 (0.66 \sim 1.69, 0.83) % further adjusted for amount of tobacco smoked	et al.	2011b、
症例対照	年末ま	AA-Hb: $47 (20 \sim 209)$	$Log~GA-Hb:0.88~(0.51\sim1.52,~0.65)$ at baseline (g/day), past smoking (yes/no) and	2008	EPA
$1993 \sim 1997$	で)	GA-Hb: 26 (9~99)	duration of smoking (years).		2010、
年に在住		・非喫煙者	【ER 陽性(269 ペア)】 【全体】		EFSA
デンマーク	乳癌:	AA-Hb: 35 (20~96)	$Log AA-Hb: 1.10 (0.63\sim 1.93, 0.74)$ $Log AA-Hb: 1.9 (0.9\sim 4.0, 0.08)$		2008、
生まれ	374名	GA-Hb: 21 $(9\sim47)$	$Log GA-Hb: 0.88 \ (0.45\sim 1.71, \ 0.70)$ $Log GA-Hb: 1.3 \ (0.6\sim 2.8, \ 0.5)$		ATSDR
閉経後の女		・喫煙者			2012
性	対照群:	AA-Hb: $125 (36 \sim 254)$	【ER 陰性(79 ペア)】		
50~64 歳	374名	GA-Hb: 58 (17~130)	$Log AA-Hb: 0.83 (0.28\sim 2.48, 0.74)$ $Log AA-Hb: 2.7 (1.1\sim 6.6, 0.03)$		
(開始当時)			$Log GA-Hb: 0.71 \ (0.21\sim 2.35, \ 0.57)$ $Log GA-Hb: 1.5 \ (0.6\sim 3.8, \ 0.4)$		
		【対照群】			
		・全体			
		AA-Hb: 47 (18~205)			
		GA-Hb: 28 (9~99)			
		・非喫煙者			
		AA-Hb: 35 (17~88)			
		GA-Hb: 21 $(7\sim53)$			
		・喫煙者			
		AA-Hb: $122 (28 \sim 277)$			
		GA-Hb: $60 (20 \sim 126)$			

k. スウェーデン症例対照研究

対象集団	症例群及び	FFQ による推定	OR (95%CI)			文献	国際
性別・人数	対照群	摂取量(μg/日)					機関
スウェーデン	食道腺癌:	Q1: \sim 27.27	【全体】	【過体重又は肥満】	【非喫煙者】	Lin et	ATSDR
症例対照	189名	$\mathrm{Q2}:27.27{\sim}$	全食道癌(Ptrend=0.46)	全食道癌(Ptrend=0.04)	全食道癌(Ptrend=0.12)	al.	2012
$1994 \sim 1997$	胃食道接合	34.83	Q1:1.00	Q1: 1.00	Q1: 1.00	2011	
年に在住	部の腺癌:	Q3:34.83~	$Q2:1.35~(0.96\sim1.99)$	$Q2: 1.84 \ (1.02 \sim 3.29)$	$Q2:1.38\ (0.92\sim2.05)$		
女性	262 名	44.08	Q3: $1.12 (0.91 \sim 1.58)$	Q3: $1.57 (0.90 \sim 2.75)$	Q3: 1.27 $(0.85 \sim 1.90)$		
80 歳以下	食道扁平上	Q4:44.08~	$Q4: 1.23 \ (1.02 \sim 1.75)$	$Q4:1.88\ (1.06\sim3.34)$	$Q4:1.46\ (0.96\sim2.21)$		
(開始当時)	皮癌:						
	167名		食道腺癌(Ptrend=0.55)	食道腺癌(Ptrend=0.22)	食道腺癌(Ptrend=0.004)		
			Q1: 1.00	Q1: 1.00	Q1: 1.00		
	対照群:		$Q2: 1.23 \ (0.72 \sim 2.08)$	$Q2:2.06\ (0.94\sim4.54)$	$Q2: 1.11 \ (0.62 \sim 2.02)$		
	820名		Q3: $0.95 (0.55 \sim 1.65)$	Q3: 1.32 $(0.62 \sim 2.85)$	Q3: $0.94 (0.51 \sim 1.73)$		
			$Q4: 1.28 \ (0.75 \sim 2.17)$	$Q4:2.09\ (0.97{\sim}4.53)$	$Q4: 1.35 \ (0.74 \sim 2.46)$		
			接合部腺癌(Ptrend=0.44)	接合部腺癌(Ptrend=0.19)	接合部腺癌(Ptrend=0.63)		
			Q1:1.00	Q1: 1.00	Q1: 1.00		
			$Q2: 1.57 \ (1.03 \sim 2.40)$	$Q2:2.20\ (1.00\sim4.83)$	$Q2: 1.43 \ (0.85 \sim 2.39)$		
			Q3: $1.22 (0.79 \sim 1.89)$	Q3: $1.78 (0.85 \sim 3.74)$	Q3: 1.20 $(0.71 \sim 2.03)$		
			$Q4:1.32\ (0.85\sim2.05)$	$Q4: 1.76 \ (0.83 \sim 3.75)$	Q4: 1.22 $(0.70 \sim 2.11)$		
			扁平上皮癌(Ptrend=0.02)	扁平上皮癌(Ptrend=0.07)	扁平上皮癌(Ptrend=0.01)		
			Q1: 1.00	Q1: 1.00	Q1: 1.00		
			$Q2:1.30\ (0.74\sim2.31)$	$Q2:2.16\ (0.70\sim6.69)$	$Q2: 1.78 \ (0.78 \sim 4.04)$		
			Q3: $1.49 (0.85 \sim 2.64)$	Q3: $2.24 (0.79 \sim 6.33)$	Q3: $2.57 (1.15 \sim 5.78)$		
			Q4: $1.56 (0.86 \sim 2.85)$	Q4: 2.28 $(0.74 \sim 7.00)$	$Q4:2.82\ (1.16\sim6.87)$		